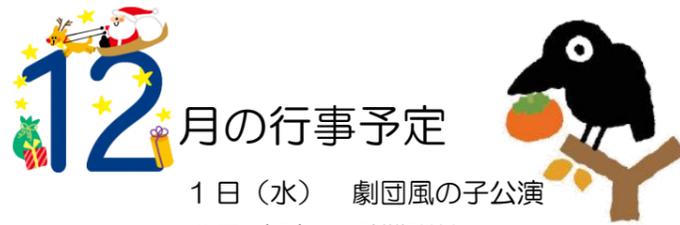




## 11月の行事予定

- 5日(金) ほし組おでかけ保育
- 9日(火) そら組デイキャンプ
- 12日(金) 健脚活動④
- 16日(火) 青パト訪問  
(赤磐市青少年育成センター)
- 19日(金) 誕生会
- 24日(水) 総合避難訓練



## 12月の行事予定

- 1日(水) 劇団風の子公演
- 6日(月) 避難訓練
- 16日(木) 発表会予行
- 17日(金) 誕生会
- 25日(土) 発表会
- 29日(水) ~令和4年1月3日(月)  
年末年始のため休園となります。

園だより NO. 435号

# くまのこだより

令和3(2021)年11月1日(月)発行  
さくらが丘保育園



社会福祉法人 岡山こども協会

### 『こども集団の育ち』

去年はほし組(4歳児)、今年はそら組(5歳児)と持ち上がりで担任をしています。去年と比べるとみんな大きくなり自分でできることやチャレンジすることが多くなりました。また、手伝いを自分から進んでしようとする姿はさすが年長児だと感じます。

ある日の給食の時、Aさんの体調が悪くなり涙が出ました。その様子を見たこどもたちは、給食を食べることを止めて、すぐに泣いている子のそばに寄り添い「どうしたの」と聞いていました。体調が悪いことを知ると1人はその子のコップを持って行って、お茶を入れて渡していました。頭を撫でている子がいたり事務室へ職員を呼びに行く姿も見られました。周りの状況を見て、自然に役割が分担され適切に対応しているこどもたちの姿に驚きました。

友だちに対する「思いやり」から出た行動だと思いますが、「思いやり」は教えられて身につくものではなく、あそびや生活の中で助けてもらったことや優しくされた経験、心がほっとする言葉がけ、してもらって嬉しかったことなど体験を通して育まれていくものであると思います。

こどもたちの成長の過程を見守っていきながら、私自身がこどもの心を耕せる保育者でありたいです。

歌田 翔志

## 運動会

10月9日(土)に運動会を行いました。晴天に恵まれ、いつも遊んでいる園庭で行うことができました。お家の方に見てもらうことで、恥ずかしがる子もいましたが、やる気に満ちた姿も多く見られました。保護者の方、暑い中温かい拍手をありがとうございました。



## 丘の上知恵袋

Q.すぐに諦めず、挑戦しようという気持ちを持つための効果的な方法はありますか？

- A. 【挑戦できない子にしてしまう大人のNG行動】
- ・失敗させないように先回りする・こどもの失敗をすぐに大人の手で直す
  - ・「失敗は悪いこと」とこどもの心に植え付ける
- 【挑戦できる子に育てるために大人ができる事】
- ・悪い先回りよりもいい先回りを・失敗してもいいんだという気持ちを育む
  - ・大人の失敗体験を教える
  - ・挑戦する力を育む声掛けをする



参照資料:ほいくらし「挑戦できない子が増えている?その原因と挑戦できる子の育て方」

私たち大人は無意識のうちに失敗を後ろ向きなものと捉え、「こどもが失敗しないように」先回りして手助けをしている時があるのかもしれません。そうではなく、失敗を「次に進むための大切な経験」と前向きに捉え、こどもたちにも「失敗しても大丈夫」「また頑張ろうと挑戦することが大事」ということを伝えていきたいなと思いました。

私たち岡山こども協会は、転ばない子を育てるのではなく、『転んでも立ち上がり歩き出す子』を育てたいと思っています。

来月号からは保護者の方から募集した質問と保護者の方々のご意見を載せます。

### 今月の「教えて」

Q. 保育園イヤ!という時に気持ちを切り替えさせる方法がありますか?

また帳面に用紙を貼りますのでご意見を記入して下さい。ご協力よろしくお願いします。



住所	赤磐市桜が丘東 6-6-704
電話	(086)995-0104
IP 電話	050-3494-4820
FAX	(086)995-0164

## はなぐみ



## つきぐみ

園庭にいるカメを見に行くことが好きなのはなぐみさん。「カメさん見に行こう」と声をかけると、てくてくと自分で歩いて行き、水槽を覗き込んだり「あ！」と指差しをしたりして不思議そうにカメを目で追っています。生きものとの触れ合いを大事にしてほしいと思います。

どんな生きものも、自然も、どんどん友だちになっちゃいます。こどもたちの心の広さからの、関わりのおおきさなんだと思います。

ご飯を食べる時間にテラスにいたBさん。保育者が「Bさんがいない」とつぶやくと、Aさんが「つれてくる」とBさんの元へ駆けつけました。「今日のご飯は炊き込みご飯だよ」とAさんがBさんの手を引いて誘うと、Bさんはご飯を食べに来ていました。

「いくよ」と手を引くだけでなく、友だちの興味の引くような話題を出して、関わる姿がなんともかわいらしいですね。



## ゆきぐみ

運動会ごっこを楽しんでいる時のことです。バトンを持ってかけっこを楽しみました。始めは、保育者の姿を真似てバトンを片手に持ち、走っていましたが、途中から、バトンを両手に持って、ハンドルのように、小刻みに左右に動かして走っていました。気分は運転手です。

発想力豊かなこどもたち。こどもたちの行動から、「そういう風にもみえるね」と気づくこともしばしば。考え方の柔らかさは、こどもたちの特技ですね。



## ごっこいいね

## にじぐみ

外で遊んでいる時によくジャングルジムに登っているこどもたち。そこで自分がどこまで登っても大丈夫か考えながら、自分で行ける高さまで登っています。自分で考えながら登っている姿がいいと思います。

自分の限界を決めつけるのではなく、自分の身体と相談しながら、時には怪我をして失敗もしながら、自分の身体を知っていくんですね。



## ほしぐみ



春から毎月、季節のうたを2～3曲決めて歌っています。10月は『いちようのはっぱ』と『手のひらを太陽に』の2曲。初めて歌う日に「いちようのはっぱ知ってる?」「保育園にもいちようの木があるから探してみてね」と話をしました。それから何日か経ったある日。園庭で遊んでいると「いちようのはっぱあったよ」と嬉しそうに見せに来ました。それから毎日のようにいちようのはっぱを見つけると伝えています。歌うことだけでなく歌詞にも興味をもって楽しめていることに嬉しくなりました。

発見を喜び合うことで、嬉しさが何倍にも膨らみます。その心地よさを、何度でもこどもと一緒に感じられる大人でありたいと思います。

外あそびの時に、自然にこどもたちだけで始まった帽子取り鬼。誘い合ってあそぶ姿に、成長を感じました。

いつ、どこで、誰と、何をするか。こどもの発信で、どんどん行動してほしいと願っています。“自分で考え、行動する子”わたしたち、岡山こども協会の保育目標でもあります。

## そらぐみ

